

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2015年1月15日 送信枚数2枚

【オリコン 日本における海外文化 人気トレンドレポート】

行きたい海外旅行先断トツ 1位「ハワイ」

2015年は、日本国内で『ハワイ飯（メシ）』ブームが本格化か 人気のハワイ飯。1位「パンケーキ」、2位「ロコモコ」、3位「ハンバーガー」

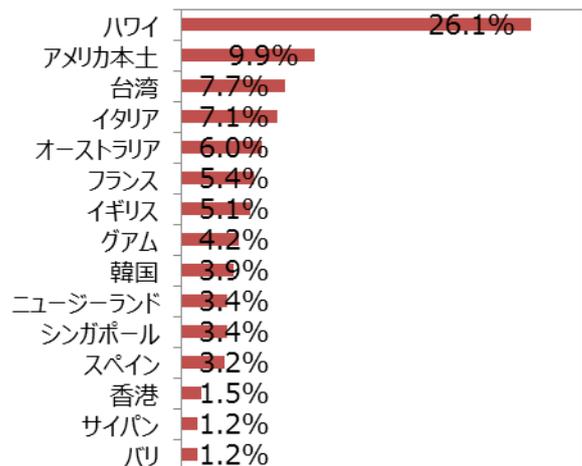
アメリカをはじめ、イギリスや、フランス、イタリアなど、戦後の日本は、様々な海外文化を受け入れ、時にはブームを巻き起こしながら、自分たちの生活に取り込んできました。ちょっと前の韓流ブームなどもその際たる例と言えます。そこで韓流ブームが落ち着いた今、気になるのは、次にどこの海外文化がブームとなるかということです。これは、2015年の生活や消費のトレンドを占ううえでも、重要な要素になるといえるでしょう。そこで、オリコンスタイルが取材とリサーチを行ったところ、見えてきたのは、ハワイアンブームです。特に「ハワイ飯」ブームが起きつつあります。2015年はこの傾向が加速し、本格的なハワイアン＆「ハワイ飯」ブームがやってくるそうです。

■ 最も行きたい海外旅行先 1位は「ハワイ」

オリコンが20代～50代の男女800名を対象に、この年末に行った意識調査によると、最も行きたい旅行先として「ハワイ」と答えた人が26.1%を占め、断トツの1位という結果に。

海外旅行の定番スポットとして日本では高い人気を誇ってきたハワイですが、2000年に入って徐々に人気さが下がり、日本人の年間渡航者数は、2009年117万人まで落ち込んでいました。しかし、2012年ごろから再び注目度が高まり、ハワイ州観光局によると、2013年には152万人、2014年も前年とほぼ同様の152万人ほどと見込んでおり、高い関心を集めています。

最も行きたい海外旅行先トップ15 (n=800)



■ 「ハワイが本当に好きだから行くという人が増えました」

このハワイ人気についてオリコンではBS12ch「TwelIV」で毎週土曜日放送中のハワイの情報番組『ハワイに恋して』のプロデューサーを務める池上直樹氏に取材したところ、「以前は円高で安いからハワイに行くという旅行者が多かったのですが、最近は、ハワイが本当に好きだから行くという人が増えました。だから、円安になった今でも旅行人気は落ちない。特にリピーターの方が多く、ガイドブックに載っていないようなスポットを自分で探して訪れるという人も増えました。ハワイという名前やイメージではなく、ハワイが本来持つ魅力に惹かれて旅行する人が増えたのだと思います。」とコメント。また、人気の理由について尋ねたところ、「定番のお店がしっかりあって安心感もありながら、新しいお店やアクティビティもしっかり出てくるという適度な新陳代謝と、グルメやショッピング、アクティビティを例えばワイキキエリアから出なくても、全て楽しめるコンパクト性」をあげました。



(C) BS12ch TwelIV

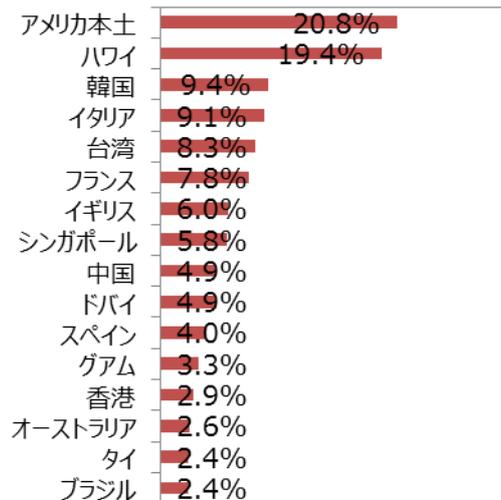
ハワイ情報番組『ハワイに恋して』

BS12ch 「TwelIV」で毎週土曜日よる9時から放送しているハワイ初心者から上級者まで楽しめる、ハワイを感じる情報番組。日本とハワイを行き来するメディアナビゲーター内野亮（うちのまこと）と、プロサーファーとしても活躍中のロコガール・アリッサがハワイ案内人となり、日本からシーズングェストを迎えて、一緒にハワイの魅力伝える新感覚エンタテインメント番組。

■日本国内でも盛り上がるハワイの文化

また、オリコンでは「日本国内で盛り上がりを感じる海外文化」について調査したところ、「ハワイ」と答えた人が19.4%と「アメリカ本土」の20.8%に僅差で続く2位という結果に。現在のハワイアンブームは「旅行先」としての人気だけにとどまらない結果に。戦後の日本に多大な影響を与え続けてきた「アメリカ本土」と差のない数字が出たことから、現在の日本国内におけるハワイアンブームの予兆が見てとれます。

日本国内で盛り上がりを感じる海外文化トップ15 (n=800)



■『ハワイ飯』がけん引する国内のハワイアンブーム

そのブームをけん引するのがハワイアンフードの活況です。

この数年、パンケーキブームを巻き起こした「エッグスシングス」をはじめ、ハワイで権威のある「ホノルルマガジン」主催のグルメアワードで口コミ1位を獲得した「モエナカフェ」や、ハワイで最も権威あるハレアイナ賞ベスト朝食賞4年連続受賞の「シナモンズ」、ハワイのグルメ賞であるハレアイナアワード 金賞に輝いたハワイアンカフェ「カフェ・カイラ」といった本場のパンケーキが味わえる人気店が続々上陸。さらにハワイに本店を構えるダイニングカフェ「アロハテーブル ワイキキ」や、アサイーボウルで人気の「アイランドヴィンテージコーヒー」、ローストチキン専門店「マウイ マイクス」などパンケーキ以外の部門でもハワイの人気店の日本出店が相次いでいます。また、店だけでなく、食のメニューでも、パンケーキ以外にアサイーボウルや ロコモコ、ピタヤボウル、ハワイアンビールなどが注目を集めています。まさにハワイアンブームとは、『ハワイ飯』ブームと言えるでしょう。



エッグスシングス



モエナカフェ



アイランドヴィンテージコーヒー

■「今年はハワイ飯が本格的にトレンドになるのではないのでしょうか」

これについてハワイ州観光局局長のエリック高畑氏は「日本を訪れる度にハワイ飯を扱うお店が増えていて驚かされます。パンケーキのブームにも目を見張るものがありました。最近では、パンケーキ以外のメニューも増えてきており、ハワイ飯のブームを強く実感しますね。そのせいかハワイにも日本からグルメに興味を持ってやってこられる方が非常に増えていると感じます。今年も日本にハワイの人気店が多数出店することが決まっていますし、『ハワイ飯』が本格的にトレンドになるのではないのでしょうか」と、2015年の『ハワイ飯』ブームを予測します。



ハワイ州観光局 局長 エリック 高畑氏

エリック 高畑氏 プロフィール

米国ハワイ州出身。アトラクション施設「シーライフパーク」にて、日・中・韓マーケットを中心としたセールスマネージャーを務めた後、潜水艦ツアー「アトランティス・サブマリン」のアジア地区セールスマネージャーを経て独立。ホノルルでマーケット会社を立ち上げ、数々の大手企業と提携し、セールスを中心にPR、マーケティング業務に携わる。2011年より、ハワイ州観光局の代表に就任し、現在に至る。

■ 人気の『ハワイ飯』は、1位「パンケーキ」、2位「ロコモコ」、3位「ハンバーガー」

では、その中で人気になりそうなのは、何か。上記調査で好きなハワイアンフードで1位になったのは35.4%が支持した「パンケーキ」です。やはりこのところのパンケーキブームが数字にも表れた結果になりました。一方、2位には34.0%から支持を受けた「ロコモコ」が、3位には21.6%から支持を受けた「ハンバーガー」が入っており、定番のハワイ飯が強さをみせました。この中で注目したいのが「ハンバーガー」です。「パンケーキ」や「ロコモコ」と違い、アメリカンフードのイメージも強く、ハワイアンフードとしてのイメージだけではない「ハンバーガー」ですが、それだけにパイナップル入りやロコモコ風など独特のハワイアンバーガーが新鮮味を持って注目を高める気配があります。

好きなハワイアンフード トップ5 (n=800)

1位	パンケーキ	35.4%
2位	ロコモコ	34.0%
3位	ハンバーガー	21.6%
4位	アサイーボウル	9.3%
5位	ハワイアンコーヒー	8.6%

また、近々ハワイ飯への注目を加速させる動きもありそうです。上記の高畑氏によると、ハワイ州観光局が初めて公認するハワイ飯が大手外食チェーンから2月に登場します。メニュー内容など詳細はまだ未公開ですが、ハワイ州観光局がこのような公認を与えるのは初めてのことで、期待が持てそうです。高畑氏も「本場に負けない味に仕上がっています。ハワイの味が忠実に再現されており、ハワイで生まれ育った私のようなロコボーイでもハワイ飯として認められる商品です」と自信をのぞかせました。

ハワイブームが巻き起こった2014年に続き、2015年は『ハワイ飯』がブームを大きく牽引して本格的にトレンドとなる事が予想されます。

オリコン意識調査概要

- ◆調査名： 「海外文化に対する意識調査」
- ◆調査期間： 2014年12月19日（金）～12月26日（金）
- ◆調査対象： 20～50代 男女 計800サンプル
- ◆調査方法： インターネット調査
- ◆調査企画： 株式会社 oricon ME
- ◆調査地域： 全国
- ◆調査機関： オリコン・モニターリサーチ

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 oricon ME 担当： 中舘、富樫、竹島
 TEL 03-6447-0570 / FAX 03-3470-0626 e-mail : cominfo@oricon.jp